

公表	事業所における自己評価総括表
----	----------------

○事業所名	ぼるく中原 / 放課後等デイサービス		
○保護者評価実施期間	令和6年12月1日 ~		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	18	(回答者数)
○従業者評価実施期間	令和6年12月1日 ~		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数)
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年3月2日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保護者と子どもの状況について共有し、個別支援計画に反映するようにしている。	引き渡し時や、電話、メール、連絡ノートなどで、子の様子を共有するようにしている。	学校や関係機関を含めての共有。
2	個別的に対応できる職員の配置をしている。	不穏な状態にしない、なった時には長引かせないように配慮している。	職員の支援力の向上
3	保護者の学習の機会や成人施設の見学会などを行っている。	法人の療育部会単位での研修があり、積極的に周知している。 少しづつ将来のイメージが持てるよう、見学会を設定している。	見学会を継続していく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者同士の交流の機会や兄弟への支援等、家族への支援がすくない。	交流会も含めた保護者会は行っているが、さらにニーズがあるのかが不明である。	交流や兄弟の会などのニーズを知る。
2	地域の子どもとの交流の機会が乏しい。	環境の変化や音に過敏な利用者が多く、交流することが難しい。	慣れている事業所に招くなどの工夫。
3	保護者や利用者との意思疎通や情報伝達の配慮	保護者とはメールなども利用して、情報伝達ができるようにしているが、利用者とはカード、Yes.Noの選択、ボード記入等に対応している。保護者への周知が不足していると共に他の方法を共に検討することが不足。	保護者・利用者の希望を聞いていく。